

第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立和泉総合高等学校
校長名	松下 聡司

開催日時	令和 8年 6月 5日(金)14:00～16:00
開催場所	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム
出席者(委員)	山内会長・上條副会長・大野委員・加島委員・木村委員・黒瀬委員
出席者(学校)	松下校長・南事務部長・岡崎教頭・徳増教頭・館首席・上野首席 小林生徒支援部主事・前川教務主任・河内進路支援部主事 磯村教諭・菊地教諭・中村教諭・山本教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画及び学校評価、令和8年度学校経営計画等
備考	

議題等(次第順)	
1. 開会の辞	
2. 校長挨拶	入学生徒の確保に向け、本校の魅力発信・特色づくりに取り組みたい
3. 学校の状況報告	①学校経営計画について(校長より) 令和7年度の評価について報告 令和8年度の計画について説明 ②進路状況について(進路支援部より) ③生徒状況について(生徒支援部より) ④教務について(教務部より)
4. 全体協議・質疑応答	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>「学校経営計画について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校現場において、教職員の働き方改革は引き続きの課題である。生成AIに係るリテラシーを養い、働き方改革の推進につなげてみては。 「就職率100%を達成した」というのはなかなかできないことである。今年度も、引き続き頑張ってもらいたい。 管理と運用のバランスが難しいが、生徒がchromebookを自由に利用できる環境を整備することで、1人1台端末の利用促進につながるのではないかと。中学校ではICT機器を駆使し、業務の効率化を図っている。小学校では、「書き」が未発達な児童もおり、端末の音声入力機能を活用している。端末の利活用を促進させることで、生徒の活躍の場が広がるのではないかと。 高校の通級指導について、小中学校とは異なる形態だが、取り組みを学校全体で推進することで、生徒同士が尊重し合える空気感の醸成につながるのでは。 現在は、自由な校風の中にも一定の厳しさが感じられ、学校全体が落ち着いてきている印象がある。 <p>「進路・生徒支援・教務について」</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後の追跡調査(就職・進学後の状況等)の実施を検討してほしい。 進路支援部作成のめざす生徒の姿がまとめられたルーブリックは、生徒にとってもわかりやすくよい。転職することが多くなっている現代だからこそ、生徒自身が、進路を選択する際の軸を持つことが重要。 進路学習について、小学校高学年段階では、地元地域の就労現場に赴き、そこで働いている人の気持ちを知るといった活動を実施している。進路支援部が作成しためざす生徒像のルーブリックは、ぜひ生徒にも共有を。 ステップカードの指導について、発行枚数の内訳(問題行動の割合分析)をまとめてほしい。個々の問題行動に対するアプローチの仕方が大切。各分掌間の連携を図り、制度設計の検討を続けてほしい。 生徒指導について、中学校では「なぜそのようなことをしたのか」と本人に尋ねることで、自らの変容を促している。 生徒への成績欠点理由の開示は、生徒の自己理解にも繋がり、教育効果が高いのではないかと。 日常的に不安を抱える生徒が不登校等に陥らないよう、スクリーニング等を実施し、引き続き、早期発見に努めてほしい。 	
次回の会議日程	
日時	令和 8年 11月 20日(金)14:00～
会場	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム